

厚生保険特別会計業務勘定 平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	1,544	1,535	△9	特別保健福祉事業預り金	1,500	1,500	0
未収金等	110	114	4	退職給付引当金	125	119	△5
貸倒引当金	△54	△56	△2	その他	8	16	7
有形固定資産	54	50	△3				
国有財産 (公共用財産除く)	54	50	△3	負債合計	1,633	1,635	2
物品	0	0	△0	< 資産・負債差額の部 >			
その他	19	22	2	資産・負債差額	41	31	△10
資産合計	1,675	1,666	△8	負債及び資産・負債差額合計	1,675	1,666	△8

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
人件費	75	72	△2
退職給付引当金等繰入額	14	13	0
補助金等	7	7	0
委託費等	1,116	54	△1,061
他会計等への繰入	158	171	13
その他	165	168	3
本年度業務費用合計	1,536	488	△1,047

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	38	41	3
本年度業務費用合計(A)	△1,536	△488	1,047
財源(B)	1,539	469	△1,069
その他	0	8	8
本年度末資産・負債差額	41	31	△10

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	42	31	△10
財務収支	-	-	-
本年度収支 (業務収支+財務収支)	42	31	△10
資金への繰入等	△35	△19	15
資金残高等	1,538	1,522	△15
本年度末現金・預金残高	1,544	1,535	△9

厚生保険特別会計業務勘定の業務等の概要

- 設置目的、業務内容
 - 健康保険事業、厚生年金保険事業及び児童手当拠出金徴収業務における業務取扱並びに保健事業、福祉事業に係る収支を経理するために設けられたものである
 - 平成元年度補正予算において、老人保健制度の基盤安定化を目的とした特別保健福祉事業資金(1兆5千億円)を業務勘定に創設し、平成2年度以降その運用利益金を財源として、老人保健関係業務に対する補助等を行っている
- 歳入歳出決算概要

歳入額4,721億円に対し歳出額4,402億円であり差引319億円の剰余が生じた

この剰余金のうち121億円を19年度の歳入へ繰入197億円を年金勘定の積立金、事業運営安定資金並びに特別保健福祉事業資金へ組み入れた
- 特別保健福祉事業資金の残高
1兆5,031億円

主な科目の内容

- 貸借対照表
 - 現金・預金…主に財政融資資金預託金
 - 特別保健福祉事業預り金…特別保健福祉事業に充てるための国庫負担金受入額
- 業務費用計算書
 - 委託費等…年金資金運用基金への交付金の減
1兆683億円
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額(財源不足)
△191億円